

議会報告会 2021 アンケート結果

1 年齢別

| 合計 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代以上 | 未記入 |
|----|------|------|------|------|------|--------|-----|
| 86 | 1 | 2 | 5 | 14 | 18 | 40 | 6 |

2 学校区別

| 合計 | 鶴ヶ島第一小 | 鶴ヶ島第二小 | 新町小 | 杉下小 | 長久保小 | 栄小 | 藤小 | 南小 | 未記入 |
|----|--------|--------|-----|-----|------|----|----|----|-----|
| 86 | 6 | 14 | 28 | 5 | 8 | 10 | 4 | 8 | 3 |

3 小・中学校の再編について

- ・市の小中学校施設は、昭和40年代から50年代の人口急増に伴い整備されてきたものであり、地域の少子高齢化が進んだ現在、児童生徒の現状と今後の数値からして小中学校の適正規模の見直しを図ることは必要で小中学校再編を進めることは妥当と考えます。
小中学校は、地域の発展に伴って整備した地域の中心的な公共施設であり、地域の暮らしに深く根付いた施設で、再編を進めるに当たっては、地域住民に趣旨、年次計画等をしっかり示して、懇切丁寧に説明し、理解を求めていく必要があります。
- ・少子化の流れが進むのは間違いないので、再編はやむを得ない。前提は、教育は万全であること、児童一人一人が学ぶ環境が整備されていること、親御さんが安心して学校に預けられることが、まず第一ではないかと思えます。
- ・施設の老朽化や費用対効果から、児童数が大幅に減少するのであればやむを得ないとは思いますが。学区域の拡大により、事故等の発生機会も増えるため、児童等の安全確保は欠かせず、通学路の点検整備や見守り活動の一層の充実に加え、例えば、小1・2年生などの低学年や遠距離の児童等を対象とした通学用バスの運行なども検討する必要があるのではないのでしょうか。
今の学校は、教室も狭く窮屈で、ゆったりとした環境で学習できるようにしてあげたい。これは早くに改善すべきだと思います。35人以下の小編成では、いじめや不登校の割合が大きく減少するとのデータもあるようです。統廃合の効果で、ゆとりある広さの確保や小編成クラスの実現ができると良いのですが。また、多様性の時代に対応するためには、特別支援の児童なども含め、小編成のクラスできめ細かい教育環境の整備・構築が必要です。再編の中でこれらを進めて欲しい。「時代に合った」、「自由度の高い」など、再編の考え方が示されているが、これらは、質的な次元で、教育の在り方や環境を変えていくことにより実現できることなので、統廃合と直接結びつくものとは思えません。
- ・30年後は、IT・AIの技術革新が進み、一層デジタル化が進んだ社会へ大きく変わっている。教育環境も集団的なものから、より個別的なものへシフトしていき、日常の学びは塾のような小規模か、あるいはオンラインが主流で、体育や文化行事等は集合して、部活は地域クラブなどで、校舎の規模や運営スタイルに留まらず、学校概念までも変化しているように思います。(ランドセル・教科書はもちろん制服もないはず。)量的変化、質的变化それぞれ相反するところがありますが、今回の再編計画は、あくまでも量的変化に着目してのことだと思う。教育は本来一人一人の個性や特徴を伸ばし、困難に立ち向かっていく知恵や勇気、創造力を身につけていけるよう、磨き育てていく、先行投資の場所だと思います。顧客概念を取り入れて、児童・生徒が顧客としたらどうなのか。発想の転換が求められるのではないのでしょうか。彼らのニーズに応えるため、既に、現在の学校の枠を超え、企業等の多様な人材を活用していく時代に入っていると思います。最後に、教育サポートシステムの構築のため、市民等からの寄附による基金を設立してはどうかと考えます。
- ・スクールバスは、つるワゴンを使用すれば狭いところも走りやすいので、子どもを事件事故から守るために早急に検討をお願いします。
- ・ビデオでの説明では、児童数の減少、学校用地の借地料が大きな問題とされていました。子どもの教育は、鶴ヶ島の未来を作り出す宝だと思います。この子どもたちの教育を児童減少の中で、どのような教育体制が大切か、教育委員会などの皆さんは、どのような意見なのでしょう。教育委員会のアンケート調査などでは、小中の通学区域を一緒にする提案がなされていました。子どもの減少の中で、小中一貫教育体制も考え方の一つと思いました。その他の小中学校は、統廃合により、通学距離が長くなります。通学の安全確保はどうするのか、合わせて、学区で編成されている市民組織などの仕組みも変化することとなります。これらについては、どのように検討されているのでしょうか。子どものための予算は、削減する必要はなく、手厚く出来ないものなのでしょうか。高齢者へかかる費用の増大を押さえ、子どもの教育に回すなど少しでも共助、地域の方々の協力を得て、サポート出来ないものなのでしょうか。
- ・①小中学校の統廃合はやむを得ないことだと思います。
②統廃合後の学校の児童生徒数を「児童生徒数の推移」のグラフに併せて記入すると、見やすいかと思えます。
③統廃合後も含めて、将来的に小中学校の1学級の定員について、あるいは教員数についての加配とか、構想はどのようになっているのでしょうか。
④南小中の一貫教育については、メリットもありますが、デメリットも考えられるということ、忘れずに併記するなどの配慮が必要かと思えます。
- ・卒業生にとっては母校がなくなるというのは複雑な思いがあると思いますが、今後の児童生徒数の減少を考えると適正規模の維持という意味ではやむを得ないことかと思えます。
- ・適正規模の確保は、35人学級を確保する意味ですか。AI教育等の学習のための諸政策、教室の確保等、将来予想される適正規模として考えていますか。
- ・小学校の再編で通学距離が長くなる。通学道路の危険度アップ等の諸問題解決のため、再編準備検討委員会の活用をお願いします。
- ・中学校の再編後は通学時間が長くなり、自転車通学等の検討も要することになります。諸問題が起きそう、再検討してください。
- ・小中一貫教育とは何か。施設一体型の小中一貫教育とそうでない一貫教育との違いは何か。施設一体型とそうでないものとの衝平・公平は保たれるのか。
- ・「学校再編の考え方」8項目について全くその通りと思います。特に6)特別支援学級及び配慮を要する児童・生徒の居場所は全校に確保してください。
- ・小中一貫校のみならず、全小中学校で一貫教育を現時点から推進してください。
- ・学区割についても再検討していただきたい。

- ・再編にあたって、新しくするのもよいが、旧の学校の歴史も考えて残せるものは残していただきたい（例えば、鶴中の校歌）
 - ・生徒数の推移をみると止むを得ないと思う。それだけに現場での教育の在り方が大切だと考える。
 - ・廃校になった場合遠い学校に通うことになる。それについての考え方が必要と思います。
 - ・子どもたちの通学リスクをどうやって今以下にするのか？各家庭の負担は対策ではないので、例えばスクールバスとか？
 - ・子どもが歩いて通える距離に学校があることが大切です。
 - ・高齢化が進み学校が近くになくなると、ますます異世代とのふれあいも減り、地域に活気がなくなってしまいます。小中一貫教育などを取り入れいろいろな世代が地域をつくっていけるようになることを望みます。
 - ・生徒減少による学校の再編は必要。
 - ・必要があると考えます。
 - ・統廃合は残念ではありますが仕方ない事かと思えます。通学路が長距離となり安全面が心配です。見守りの強化、街灯、防犯カメラの設置など考えていただけると有難いです。
 - ・物事を安直にしか考えられない市の行政に対して市民の一人として信頼が無くなる。
 - ・少子化に伴う児童・生徒の減少により、やむを得ないと理解します。
 - ・児童生徒数の減少であればやむを得ない措置と考えられるが、遠距離の中学生の通学は自転車利用になるのか。小学生の遠距離通学は通学バスの手配をするのか。あるいはどんな方法を計画しているのか。
 - ・学校を存続させて、空きスペースを地域の諸活動に活用、学社連携の新しい形の全国に先駆けての創造はできないものか。
 - ・学校教育は教育者（先生）1人に対し生徒が小人数であればある程、実のある教育ができると思う。建物の老朽化はともかく先生の数を減らさない教育をしてほしい。
 - ・教育に対しては費用対効果を求めるべきではない。小学校の単学級化は児童の人間性育成、教育の負担軽減と小中一貫教育の推進の観点から望ましくない。
 - ・小学校の統合は市財政の健全化に効果がありそう。（跡地、借地の処分が前提）
 - ・鶴ヶ島は災害も少なく交通の便も良く静かな街です。少子化も理解できますが小学校が区域に無い所に転入してくる若い人たちが果たしているでしょうか。再編の前に転入人口が増える努力が必要だと思います。歩いて30分もかかる小1はどうなるのでしょうか。
 - ・当案が最終形なのか中間形なのかはっきりしない。中間形ならば最終形を示してほしい。最終形と仮定した場合、小中一貫校として存続するが、どのような姿を想定しているのか分からない。個人的には衰退していく分校を想定してしまうが。
 - ①10年後は、各学年1クラスになる可能性が高く、同じ児童生徒で9年間を過ごすことになり、人間関係をリセットすることができない。閉塞感がハンパない。閉塞感を打開するため、中学は別の中学に行く可能性がある。
 - ②学業においても、小人数の中での競い合いとなり、全体としてレベル低下になる可能性がある。
 - ③同級生が40人程度しかいないため、人間関係の視野が狭くなる。また、高校に入っていきなり400人になって、カルチャーショックを受けないか？
 - ④同じ建物に中学生と小学生と一緒にいると摩擦が生じるのでは？例えば高校受験を控えた中3と何も知らない小1がうまくやっていけるのか？
 - ⑤部活がほとんど成り立たない。
- 我々の目線ではなく、子ども目線で子どもの幸せを考えると通学距離が長くても南小は、藤小か第一小に編入したほうがよい。小中学校の再配置については、論点を公共施設から出発するのではなく、子どもの教育から考えた方がよい。
- ・南小中区は、現在でも人間関係が狭くなっているため、今からでも他校とオンライン授業を（イベントではなく）組み入れたり、他校の授業に出向いたりして、視野を広げた方がよい。
 - ・子どもが少なくなっているため、しかたないと思う。いつかは出てくる話だと思っていた。
 - ・小学校の統合に伴い、通学距離が長くなる。学校選択制を望む
 - ・かなりの勢いで少子化がすすんでいる現実にはさかさショックを受けています。全方位的に考えて計画されてことと思いき基本的には賛成です。計画から考え大きく変化した場合再検討いただければと思います。
 - ・市内全域に歩道が狭いところが多く、しかも路面が平坦ではありません。学校の廃止に伴い通学が遠くなる所は特に歩道、ガードレールの改善を行ってください。
 - ・成長期の子どもは2.5キロ位の距離は歩かせることにより、健康、体力がつくられると思います。スクールバスは必要ありません。
 - ・10～30年後の小中学校の在り様が劇的に変化している可能性が大と思われる。コロナ禍で加速して「リモート授業」のより進化？で今まで学校に行っていたのが「オンライン授業」（特に中学校～）になっている等根本から発想の転換が必要と思われる。
 - ・2032年に南小と南中が小中一貫校になりますが市内の小中学校は順次そのようになっていくのでしょうか？小中一貫校を希望する家庭は越境で通学は可能でしょうか？長久保小と第一小の統合では長久保小の方が校庭も広く水はけも良いので長久保小を残した方が良いのではないのでしょうか。
 - ・学校の統合により通学範囲がとて広くなると思います。小学校はスクールバスの検討も視野に入れていただけると良いと思います。
 - ・通学路の確保等安全対策
 - ・各小中学校は今まで通り残し、統合再編はしない。再編の意義は？利点は？知りたい
 - ・悲しいことに若い年代が少数派になった現在、再編は必要でしょう。遊びが少なくなった今、広い年代に接するためにも（兄弟も少なく一人っ子、ふたりっ子）小中一貫校もありかと考えます
 - ・小中学校の再編にともない一つだけ危惧することがあります。それは地域を飛び越えて通学することになり不慣れた道を通ることで、一番心配されるのが交通事故です。通学路においては十分にガードレールの整備、信号機の増設。スピードが出せない道路の仕組にする等、検討をお願いします。
 - ・通学距離が長くなるので、生徒の自動車事故が多くなると思う。
 - ・少子高齢化が加速する現代において小中学校の再編は仕方ないと思う。しかし再編後の一クラスの人数や通学方法など、子ども最優先の議論をお願いしたい。
 - ・鶴中と西中の統合で何故古い鶴中を残すのか？新町小区域から通学する生徒たちの通学路の安全性はどうなっているのか？交通量が非常に多く歩道が確保されている道路が少ない。事故が起きてからでは遅いので、早急に調査と改善をしてほしい。

- ・提案に賛成です。子ども達の通学負担増について対応してください。
- ・統廃合により毎日の通学路が一定の距離や時間を超えてしまう児童の場合、安心、安全な通学手段や降雪など気象によるストレスへの配慮が必要と思う。例えば小学校においてはスクールバスの運行（支援学級児童の通学バス活用）
- ・小中学校には十分な予算、人員措置を行うべき。小学校低学年の通学の安全は十分に配慮願います。
- ・今後対象となる子ども達の意見も聞いてほしいです。
- ・今後も教育が大事です。一クラスに2、3人つけて落ちこぼれないように先生方に努力してもらいたい。
- ・通学路が、道が狭かったり、人通りが少なかったりとしっかり安全確保ができるのか心配です。また、統合されることによって人数が増え、また、環境が変わり、ついていけない子が増えて不登校の子が増えないか気になります。
- ・少子化に伴い統廃合はやむを得ない。ただし、通学距離が長くなる子どもがでてくると思うので通学路の安全、自転車通学路の安全、スクールバスの運用、自家用車での送迎の許可など子どもの事を第一に考えてほしい。
- ・統廃合や廃止に至るまでのそれぞれの問題点や論点が全く見えないまま、いきなり計画案が出されたという実感。子ども達にとっては学校区が身近にあることが一番と思うが。
- ・賛成です。
- ・中長期的に段階を踏んで再編された計画案は、妥当な再編かと思います。少子化、建物老朽化など考慮した場合、やむを得ないと思います。体育館を健康増進の為の施設として再利用する場合は、ある程度予算をつけて市民が安全に利用できるように。
- ・老朽化、人口減を考えると統合、廃校になるのは致し方ないとは思いますが。小中一貫的になってくるのは良いことと思います。
- ・概ね賛成
- ・ある程度は、やむを得ないと思うが前提となる少子化、子育て世代を増やす政策を具体的に進める必要があると思います。他の自治体での成功例など調査も進めてほしい。
- ・概ね賛成です
- ・30年後に児童が減っていくのを根拠に考えていると思いますが、魅力ある鶴ヶ島市にしてたくさん転居して来なくなるように中身を考えてほしいです。南小学校区ではないですが、他の地域で学校が無くなると地域自体が元気がなくなります。
- ・育った学校が合併するのは寂しいがしょうがない。建物は出来る限り残して欲しい、特に西中は鶴のファンが訪れてそのあと鶴ヶ島巡りし飲食店に行き食事をするケースが多いためそのままにして欲しい。
- ・小中一貫的な教育には賛成。ただ、母校がなくなることに對する寂しさはあるので、有効的に利用されるとともに、証を残して欲しい
- ・杉下は、全員富士見中に行くのでいいと思う。栄小の児童数が減った今、杉下を分割しなくてもいいかと。場所によっては、藤中より富士見に行くのが近い子もいる。また、杉下小は耐震してるのか分からないので、調査してほしい。雨漏りがすごいので、他の市町村であったように、天井が落ちてきそう。
- ・子どもの人数が減って来ているので再編は必要だと思います。学区が広がると通学距離が長い生徒が出てきます。スクールバスで通学など再編するにあたっての細かい情報も早い段階から協議して欲しいです。
- ・小中一貫にするということは、いじめがあったら9年間続くことがあるという心配もあり、何より小学校6年間の大切さを先生も見守る大人も良くよく理解する必要がある。杉下小での悲しい事件を忘れてはいけないと思います。
- ・小学校については非常時の事もあり通学を考えると安易な統合は問題が多い。空き教室を考えると小学校敷地内に市民センターや自治会館、病院、図書館など他の施設を併設してはどうか。都内では小学校を市民に開放して生かしている。中学校については、クラブなど活性化させる意味である程度の規模は必要ですが通学の問題、スクールバスや自転車通学など検討の余地あり。自転車道等の整備の必要があります。小学校の教科担任制の動向を見極める必要がある。
- ・学校区が近いところと統廃合を計画していると思いますが小中一貫校とする学校とそうでない学校での差は何もないのでしょうか？
- ・住所のある学校区でない学校に通学は可能になるのでしょうか？
- ・児童数の減少で致し方ないのかもしれませんが長距離通学が心配です。
- ・廃校になる校舎の再利用は？体育館は避難場所と言っていたが校舎はどうするのか？国から言われているから、予算がとれないからでは話にならないと思います。

4 小・中学校以外の公共施設について

- ・市の公共施設の最も重要な課題は借地で整備されてきたことである。恒久的な利用の用地は取得が基本で借地の場合は長期的には多額の財政負担となり、地主の相続や地価変動などにより契約に変更を要することが生じてくる。公共施設機能を集約したり、施設目的によっては廃止し、身の丈に合う市民負担に見直すことが重要で早急に借地返還や取得を行うべきと考えます。特に市民センターは、市民活動の利用が大半であり、管理を地域支え合い協議会に委託するなど、管理方法の見直しが必要と考えます。
- ・20年後30年後は正直わかりません。施設の老朽化や費用対効果を優先することは理解できるが、推測できる最長期間は10年、時期・期間を見直してはいかがでしょうか。
- ・統廃合の30年は長すぎ。市民センターを使用する人は年配者が多いので5年ぐらいで見直していかないとかなり無理があると思います。
- ・市民センターの統廃合
 - ①地域の結びつきが求められる時代、市民交流の場としての市民センターの役割は大きくなっていると思います。
 - ②高齢化によって、市民の移動距離に限界が生じています。市民センターの周辺住民は、利用可能かと思いますが、
 - ③300mを超えると歩けない老人が多い中で、一番必要としている方々の利用が出来ないようなこととなってしまいます。この部分は、社会福祉協議会や介護サービスで補う計画ですか。カバーされない高齢者の対応策を教えてください。
- ・市民活動推進センターの廃止について
 - ①市民活動推進センターは廃止するとのことで、理由は、市民活動が充実したので、廃止するとのこと。何かの間違いでないかと、思いました。市民活動は、高齢化社会や地域の繋がりなどが大切と言われ、今後ますます重要になる活動と言われている中で、鶴ヶ島は、市民活動をどのように位置づけ、どの

様な政策をやろうとしているか、ご示唆いただければ幸いです。

(ア)市民活動推進センターの設置経緯について

市民活動推進センターは、約 20 年前に設置されたときの市民活動推進センター運営委員会の議論の中で、多くの市民活動団体が活動開始したと思います。結果、県内でも比較的市民活動団体が活発な自治体の一つとされています。しかし、当時から始まった市民活動団体は、団体構成員の高齢化、次世代への継承が課題となっています。この市民活動推進センターの必要性が高まる時期に廃止するとは、どのような根拠でしょうか。市民活動センターの運営を振り返って見てみると、設立当初は、市民活動推進センター運営委員の方々が中心となって、自主的な活動の場として、大いに利用されていました。

(イ)市民活動センターの運営を指定管理者へ変更

市長が替わって、市民活動推進センターの運営を民間委託するとのことで、外の組織に委託しました。この結果、市民活動団体の皆さんは、彼らの対応を見るようになり、各種の取組に対し、市民の参加が少なくなり、徐々に市民活動団体の利用が低下しました。市民活動団体が自主的に運営する仕組みとして提案された施設が、指定管理者制度を活用して、第三者の事業者が運営することになり、市民の意向が把握されずに独自活動を継続され、結果として市民の意向に沿わず、利用者が減少するなどの弊害が明らかに現れたことと言わざるをえません。利用者の減少により、運営の外部委託はなくなったようですが、施設の運営に関する市の方針の変更が大きな要因と考えられます。

- ・担当部局は、市内の市民活動団体の皆さんの現状の問題点をどれだけ把握されているか、大きな疑問です。再考をお願いしたいと思います。
- ・本来は市民のための施設として整備されているのが、利用者が少ないという理由で、廃止とは短絡的ではないでしょうか。運営方法の問題だと言うことに気が付かないのでしょうか。
- ・今一度、市内の市民活動団体の皆さんと協議して、センターの廃止についての議論をすべきではないでしょうか。

(ウ)つるがしま里山サポートクラブとしての市民活動推進センターの位置づけ

私どもは市民活動センターの設立前後に設立された NPO です、運営委員会にも参加して、沢山の市民活動団体と知り合い、連携活動が出来るようになりました。

- ・当時は、1 年間の反省会として、市民活動フェスタというイベントを開催してきました。
- ・このイベントの予算は、市民が出し合った 5 万円程度の予算で開催しました。第一回目はスタッフだけでも 70 団体、200 名を超える会員の方が自主的に参加してくれました。又、300 名を超える市民が参加者してくれました。このようなイベントを市の主催でやると 100 万円～200 万円の予算で実施している事例が多く見られます。
- ・いかに市民活動の役割や予算的効率が良いかは、担当部局は、よく理解されていると思っていました。
- ・私どもの組織も設立から 20 年を迎えることとなります。会員の高齢化も進み、世代交代が緊急の課題となっています。
- ・しかし、若い会員が、他の市民団体と知り合う機会が少なく、今後の活動には、市民活動推進センターに期待したいところです。

(エ)市民活動団体の世代交代の課題

- ・たぶん、当時、設立された市民活動団体の多くが高齢化が進んでおり、継続が問題となっています。鶴ヶ島市の市民活動は、この数年が継続の分かれ道です。このときこそ、市民活動推進センターの役割が大切です。
- ・以下のようなデータがあれば、参考に拝見したいと思います。
 - ①市内のすべての公共施設の維持管理に関する経費に関して、鶴ヶ島の市民一人当たりの平均負担額を他市と比較した資料。
 - ②市民一人当たりの公共施設の面積（いわゆる箱物の合計）について、他市と比較した資料。
- ・市民センターは地域の活動の中心施設であり、文化情報の発信基地としての性格を持つことからできる限り身近な施設として存続できる方向で検討してほしいと思っています。
- ・老人福祉センター、障害者生活介護施設の 2 施設の移転に大いに疑問を持ちます。2 施設は移転せず、旧給食センターの土地と等価交換し、借地料を軽減したら。
- ・老人福祉センター、障害者生活介護施設、発育支援センター、社協、文化財整理室、海洋センター等は一旦廃止後の西中に移転し、その後、新設複合施設に移転する計画であるが、新総合施設を建設してから一挙に移転するよりも費用対効果面で最善か。
- ・概ね了解です。
- ・高齢者が増加し色々な活動を行う場所としての市民センターの使用率向上対策は？
- ・イベントを多くできる会場があれば、市の活性化になると思います
- ・富士見市民センターについて、若葉駅周辺の都市機能誘導区域にある民間商業施設の建替えの際に複合化、多機能化して移転併設するとのことですが、現在の駐車場スペースの活用も含めて、なるべく早い時期にまちづくりの設計をしてほしいと思います。現役世代が便利に利用できる施設が若葉駅前にできたら、活性化につながると思います。
- ・新体育館の建設は、少子高齢化社会においてはお荷物施設になりかねないと思います。再検討をお願いします。
- ・費用の関係もあると思うが、もっとスピード感を持ってやっていただきたい。
- ・体育館は、市内に大きな施設を 1 つ建設するより、今ある施設の有効活用を望みます。地域の人たちが日常的に使えるような近い場所であってこそ利用率が高まるのではないのでしょうか。小学校の体育館を有効に使うなど考えられないのでしょうか。
- ・高齢化の中で、地域の繋がりが求められる時代、自治会や市民の活動が大切と考えられます。これらを支援する目的で設置された市民活動推進センターが廃止という方針のようですが、これからは必要になる重要な施設ではないのでしょうか。市民活動団体の皆さんの意見は、反映されているのでしょうか。是非、市民活動団体の皆さんのご意見を聞いてもらいたいと思います。
- ・西中に各施設移転することになりましたら、充分に関係者で協議してください。
- ・何かと災害が多い昨今「市民センター」の有効利用を望む。
- ・学校や市民センターは防災拠点、避難場所としても想定されていると思いますが、今後防災施設はどうなるのか。防災防疫の体制強化の必要性が高まる中不安が残ります。
- ・体育館の新設は近隣の既存施設の有効活用を視野に。
- ・公共施設の統合再編は業務の効率化を図り限られた財源を有効活用するという観点から必要であると思います。

- ・全てにおいて後手であることは否めない。介護施設に力を入れて保育所を取り壊す。このような市政があって良い筈がない。もっと頭を使えと言いたい。しっかりしろ。
- ・これまで公共施設の利用率や実際に長く利用してきた人たちに意見を出してもらったのか？施設が移転廃止となればますます利用者が減少するのは明らか。市民が利用しやすい公共施設からかけ離れてしまう。
- ・避難所としての機能のひとつに体育館などにも空調設備をご検討いただきたい。
- ・総合体育館の建設が長年の市民要望になりますが未だに具体的な計画見通しがありません。今回の計画案の中で海洋センター機能を西中学校に移転する考えがありますが、武道（柔道、剣道、弓道など）の活動場についても暫定利用になりますが校舎を利用し整備できると思います。いかがでしょうか。
- ・地域の生活安全を守る施設として、また地域交流・文化共有の場として施設・設備や配置職員を最小にしても残存を希望。
- ・地震、大火、台風、大雪、伝染病（現在のコロナのような）など、突然に待ったなしで起こる非常時の避難場所としても配慮してほしい。
- ・職員は事務的な仕事のみでなく施設周囲にも気を配り利用しやすい状態を確保してほしい。
- ・人口減を見据えてできる限り処分すべき。学校の複合化を視野に入れるべき。利用者が限定的な施設は処分すべき。
- ・小中学校同様に市民センターの再配置も、10年、20年後にそこで生きている人の目線で考えた方がよい。
- ・使う人は自動車や自転車であるので、遠い近いはあまり関係ない。
- ・多機能を持った施設になると考え、再配置が妥当と考えます。
- ・全国的に高齢化もスピードアップしている現状ですから、市民センターの全てが存続することは喜ばしいことかと思えます。
- ・（1）計画の目的の安心・安全、地域密着、さまざまな用途... について再編により、どのように整合性を持たせたのか詳細な説明が必要と思われる。
- ・発育支援センターが西中学校に移転になるのでスペースが広がるのはとても喜ばしいことですが、健常のお子さんと接する機会が無くなるのは残念です。また、ここの所長となる方は特別支援教育の有資格者であるべきだと思います。教育センターには作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、理学療法士が常駐していると良いと思います。
- ・小中学校の中に移し、すべての公共施設をなくす。借地などをやめ返却し支出をなくす。多くの公共施設が小中学校の近くにある事から利便性は保たれる。
- ・市民センターの老朽化が進み改修費に税を使うのではなく学校を安全安心の場にするために使ってほしい。古いセンターを廃止し、センターの機能を学校内に移す、空き教室の上手な利用を考える。地域と学校のつながりを保ち、老若男女が学校を中心に広がるコミュニティを作っていくことがこれからの少子高齢化社会には必要。小中再編では地域のつながりが薄れる。
- ・施設を作るのは簡易。しかし維持費が大変。20年、30年後を考えてのまちづくりを望んでおります。今ではなく将来を見据えての実施がベターです。
- ・統廃合に伴い廃止になった学校を有効活用するために地域の住民で意見を出し合って使用方法を考えた方が良いと思います。
- ・移転→新設は良として、その他の古い市民センターも新設という面も含めてご検討頂きたい。また、地域の方が歩いて行ける→行けば誰かに会えるような地域の交流の場ということを最優先でお願いします。私自身、公民館の図書館分室が子どもの頃大好きでした。なくさないで欲しいです。
- ・よくわからないが、廃校後の活用としては良いかもしれない。
- ・市の財政を考えれば仕方ない。ただし、施設移転で不便を感じる方が出ると思うのでつるバスなどの運行の見直しは必要だと思う。
- ・富士見市民センター移設を速めて貰いたい。利用しにくい問題が早めに対応できる。調理室がない。会議室が狭いなど。
- ・多様性や多世代交流を踏まえ、学校や市民センターを無駄なくスピーディに遊休資産を活用するためにも、民間企業とも大学や医療施設企業オフィス等民間施設として活用しても良いのではないかと思う。
- ・市民センターが存続する案で素晴らしい。北市民センターはそのままにしてほしい。
- ・借地が問題。
- ・各市民センターは、災害時の一時避難拠点となりますので施設をメンテナンスして存続を希望します。
- ・市民にとって一番良いのが何かはとても難しいですが、様々な方のご意見等から判断、決定して頂けたら有り難いです。
- ・概ね賛成。
- ・移転、再配置はよろしいかと思えます。
- ・公共施設の運営に当たっては、民間企業や大学の力を活用していくことが必要かと思えます。
- ・市民活動推進センターや富士見市民センターの今後についてわかばウオーク側の計画を待つという姿勢ではなく、積極的に提案をしていってほしいです。駅前再開発の中に交番のある「ふれあい広場」は自転車置き場と合わせて「ペンギン包括支援センターのランチ」や「訪問看護ステーション」など、当初企画であった施設が坂戸市に持っていかれてしまった経緯を考えると市内一の高齢者地区である富士見地区の10年～20年間を考えて設置してほしいです。敷地が鶴ヶ島市所有という好条件ですので、在宅支援の中心施設にもなると思います。
- ・老朽化については、それまでの応急の処置はしてもらいたい。
- ・鶴ヶ島にもグリーンパーク辺りに大きな体育館を作って欲しい。音楽のライブやスポーツ大会、震災時の避難場所として学校の体育館以外にもあると安心する。
- ・鶴ヶ島駅周辺に支所的な役割の施設を作って欲しい。市民センターとしてだけでなく、市役所の機能がそっくりそのままあるようにしてほしい。機能があればいいので、電子的な手続きが可能なような状態でも良いと思う。
- ・市民センターなどが古いです。建て替えも視野に入れて欲しいです。
- ・市民センターなどは耐震工事などしっかり進めてほしい。
- ・廃校後は積極的に体育館、テニスコートの他、プールもガラス張りだと半年利用でき、温水化などして都区内のように市民開放を積極的に進め、市民センター、自治会館など統合して拠点化を計画してもいいと思う。
- ・廃校後の西中学校校舎に教育センターをはじめ数多くの公共施設が移転先としてありますが何かメリットがあるのでしょうか？
- ・市民にとって便利になるなら良いと思います。

【新町住宅】

- ・市営新町住宅の住人です。80歳で引越は無理です。
- ・新町住宅の廃止後はどうなるのか？生活に困窮する世帯が増える可能性がある状況で住宅の確保ができるのか？

- ・車いす利用者のための住宅が少なく、本当に必要な場合遠くに移転するが不便な住宅生活を強いる不安を覚えます。車いす利用者が安心して住める住宅は残してほしいです。
- ・法律上の設置義務に新町住宅の廃止は明らかに反すると言わざるを得ません。とても血の通った行政とは思われず、今一度弱者に優しい血の通った行政を望みます。
- ・ひとり親なので市営住宅のおかげでこのコロナ時期でも助けられています。市営住宅は私たちにとても大きな存在です。継続を強く願っています。
- ・経済面や年齢的にも大変困りますので、引き続き新町住宅に住むことが出来るようにお願いします。
- ・80歳を過ぎての変化は辛いです。見知らぬ土地で暮らすことは心身共に「苦」です。
- ・近年、アパート等は家賃が高い、高齢者には貸していただけない等々狭い門です。
- ・継続して住めるようにお願いします。安心して生活できるようにご配慮ください。
- ・最後までここに住みたいと思ってました。引越しをする体力は残っていません。

5 実施する時期について

- ・10年という期間には地域社会や世代の意識なども変わっていくことが考えられますので対象施設も多いため、可能なものからできる限り前倒しして具体化していく必要があると考えます。
 - ・今後、若い世代（子育て世帯）20～30代の調査（人口）の推移を必要とするのではないかと。何より安心安全のまちづくりを目指すのであれば、実態を細かく調査し、市民に報告及び意見の場をもっと市議会議員から発信していくべきではないかと。
 - ・鶴ヶ島の政策として、農大跡地の企業誘致、県のロボット研究施設の誘致など、次の時代の開発拠点の可能性を持つ企業が立地してきています。これらの従業員の市内への居住促進策を講じ、少しでも、人口誘致を図ることにより、子ども達の減少が少なくなるかとも思います。又、昭和50年代に整備された住宅開発地は、高齢化が進み、世代交代の時期を迎えています。そこには、40代の世帯が移転してきて、子ども達も少しずつ、増加している様子が見えます。このような傾向は、今後とも、進展すると考えられます。
- 市の人口誘致策の展開にも依りますが、減少の人口規模を維持していくことを政策目標とすべきではないでしょうか。これらの政策の展開を考慮しながら、公共施設の統廃合を進めていくことが必要と思います。この効果を想定すると少なくとも10年くらいの時間の中で判断していくことになるかと思えます。
- ・適当と思います。
 - ・社会情勢を的確に把握、判断し、計画の随時見直し修正を行い、やるべきことは早急に実施すべきと思う。
 - ・財政面での検討が必要かと思いますが、前倒しで進めるよう提案します。
 - ・可能な範囲で良いと思います
 - ・長寿命化を図るために長期に渡る計画が必要とのことだが、今の年寄りからすれば、もう少し早めてほしい。
 - ・計画どおりの時期でよいと思います。
 - ・必要に応じ臨機に。
 - ・なるべく早い時期に。新型コロナウイルス感染症対策への財政出動後の市財政運営状況を勘案し、計画時期を再検討すべき。
 - ・これほど長い時間をかけて進めていくのに体制・気力が続くのか分からない。完了する頃には情勢が変わって、施策が古くなっている気がする。
 - ・準備も含め、早い方が良いと思います。
 - ・当面は現状の案を賛成します。
 - ・計画に添って実施していただければいいと思います。5年単位で再検討が必要でしたら、その時に考えてください。
 - ・各施設の老朽化によるのでは？
 - ・終了10年以内を目標に計画を進める。高齢化、少子化は進行中、早々に計画を実施し住みよい地域にすることが少子化を止めることにつながる。早急に検討してほしい。
 - ・予算の事もあり順次となるのは仕方がないこと。しかし開始する前に優先順位を誤らないように将来を考え若い世代にとって住み良いまちづくりを十分に考えてほしい。
 - ・児童数が少なくなってきた現状を見た場合やむえないと思います。出来るだけ早いほうが良いと思います。5、6年が妥当かと思っています。
 - ・長期間すぎて当初の計画や内容が完成時にはたして正しいのかどうかという不安はある。
 - ・小中学校の統廃合に時間差がかなりあるが、その理由はなぜか？
 - ・出来るだけ早い方が良い。逃げ道にならないように時期未定は、やめた方が良いのでは。
 - ・早ければ早い方が良い。
 - ・問答無用、話にも何もなかったもんじゃない。若い家族が移住することがないのは、この辺りにあると考えが及ばないのが、市民として恥ずかしいと思う。
 - ・地域や市民のニーズを優先して推進していただきたい。
 - ・もっと早くやらなくていいのか。
 - ・財政面を考慮して早期が望ましい。
 - ・数年かけて段階を踏んで検討の方が宜しいかと思っています。
 - ・一気にできることではありませんので、示された時期には納得いたします。
 - ・資料の時期で賛成。
 - ・見直しを行いながら、実施してほしい。
 - ・概ね妥当だと思います。
 - ・5年ごとの見直しの検討は、市民に公表し、又意見を集めることも大切です。宜しくお願いします。
 - ・適切に進めてくれればいつでも良いです。

- ・早めをお願いします。
- ・その時の状況に応じて進めてもらいたいです。
- ・どちらもっと早く動き出せたのではないかと思います、もうこれ以上時間はかけないで欲しい。
- ・廃校は遅い方が良いが、複合施設化は急いでも良いと思う。
- ・旧庁舎跡地の開発は地元の方と一緒に早く進めるべきではないでしょうか？
- ・時期については解りません。

6 その他

- ・コロナワクチンを子どもたちに早くしてあげてください。もっと市長、議員の力を発揮してください。私たちの代表なので出来ないことはないと思います。その分市民の皆さんも力を貸してくれるはずですよ。
- ・農村センターから南小に向かうガードレール内のコンクリートはガタガタ。子どもの事故事件にならないために歩いて感じてもらって、早急にご検討をお願いします。地域によって危ないところが多いのでご理解の上、ご検討をお願いします。
- ・県内でも高齢化の進展が急速に進むと言われる鶴ヶ島市において、高齢化時代や地域の絆が大切だと言われる時代の共助の支援体制とは、どんな事が必要かを十分に議論してください。地域の独居高齢者世帯の増加など、見守りが必要な時代となっています。自治会、民生委員の皆さんの活動だけでは、ほとんどサポート出来ていません。向こう三軒両隣の交流など日々の生活で培われる信頼作りが必要です。日常生活の中で、生活を共有していく空間を少しでも作り出していくことが必要と思っています。
- ・①資料の「市民センター等の公共施設」には、女性センターや保育所や公園等が入っていませんが、これらは該当しないのですか？すべての公共施設の一覧でしょうか。
- ・②資料グラフには、R3 2までの児童生徒数の推計が示されています。市の財政健全化判断比率などのような収支に関する推計は、どの程度の将来までなされているのでしょうか？
- ・オンライン会議での時間が短くて質問ができない。
- ・小中学校再編、公共施設の再配置にあたって、市内全域の区域割りをしっかりと検討し、見直してほしい。小学校、中学校、市民センター、地域包括支援センター、民生委員、青少年健全育成協議会などエリアが全て違い、地域でのつながりや地域での連携を図りにくくしていると思います。自治会長、民生委員など会議等の出席依頼に戸惑うこととなります。
- ・5年後の見直しでは、こうした市民の意見を聴く機会を何回か設け、議会・議員としての考えも含め市民と一緒に夢を語り合い、意見交換する中で計画を作してほしいです。
- ・鶴ヶ島に居を構え永住の意識の強い議員各位が真剣に職業議員として判断し、結論を出すべき。時代背景をベースにこうしたコストで、先行き2050年には功罪が考えられると告知し、意見を聴取すべき。
- ・鶴ヶ島市及びその周辺地域も含めて人口動態や経済環境・社会情勢を踏まえてご判断いただけたらどうか。若しくは市の当該部局にその背景を確認されたらどうか。前提条件は大幅な意識改革。
- ・財政面はもちろん重要であるが、市民の利便性、生活の向上も十分に考慮して欲しい。
- ・高齢者、障害者、幼児の移動手段には十分な配慮が必要。
- ・鶴ヶ島には、文化施設が少なすぎます。文化や芸術を発信するまちとして特色が持てたら、もっと若者も住みやすくなるのではないのでしょうか。
- ・いつでも集える場所をいたる所に確保してほしい。生き活きたまちづくりに居場所は欠かせないと思います。
- ・こういう事態になることは10年前には予想できたことで市議会議員の総入れ替えも真剣に考えるように。
- ・住み心地の良い鶴ヶ島市をもっとアピールすべきである。自然災害のない。関越自動車道と圏央道が近い。池袋まで45分という利便性を訴えて若い家族を誘致すべきだと思う。
- ・前例がないと動けない市はいらない。もっと前向きにならなければ信頼は市民から得ることは出来ない。
- ・一部業者の利益に繋がることが疑われないよう公明に計画・進行。
- ・地域住民が充分納得いくまで話し合いを。(多数決の原理で賛成多数で実行ではなく、少数意見にも理に合ったものがあるので、皆さんが前向きで考えられる計画を)
- ・情報提供を積極的に。情報の提供がないと市民は案件の進捗状況や課題の把握は難しい。事業の進捗・遂行は市民と共有で。
- ・今のコロナの現状について、市民センターを自宅療養の替わりに利用できないだろうか？利用できなければ野戦病院を設置したら。
- ・小中学校における統廃合や小中一貫、廃止の施設の再利用など、20年30年を見越した良い計画案だと思います。これは日本全国に言えることが、ヨーロッパに比べて日本の建築物は寿命が短いですね。建物の再利用に関しては安全性の維持をよろしくをお願いします。
- ・廃校の再利用について、小さく起業したい若者や習い事のシェアの場所として市が賃貸運営するのは、いかがでしょうか。今後ますます少子化が進み、老人が増えていくわけですから、デイサービスではなく、真面目な元気な老人学校はいかがですか。未来の老人の行く場所、助けてもらうばかりの場所ではなく、生涯夢を持って学べる場であっても良いと思います。例えば歌や家庭菜園や工芸、テクノロジーについて等。毎日通える学び舎があれば、生涯友達を作る場になるのでは。また、小中学校と同様に給食があれば、給食センターも存続できるのでは。
- ・市議会との懇談会等1年に4回くらい設けていただきたい。市民センター単位のスケールでも結構です。市民の声をできるだけ聞いてください。
- ・人口減については昨今の問題ではない。いかに若年層を鶴ヶ島市民に迎え入れるか。他の自治体と比較し、例えば保育園、小児科病院等共働きに対する取組を充実させて欲しい。若い母親の方は各自治体の福祉関連を非常によく勉強しており、少しでも条件の良い自治体に引越して新たな家庭を築いている。鶴ヶ島も負けるな。
- ・この鶴ヶ島に移住して30年以上経つが学校も市民センターもとても近くてありがたかった。学校も各市民センターも維持していく上では市の財政負担も大きいと思うが、無駄に見えるような大きな道路を長年かけて造ったり、商業施設を誘致して広げるようなことを進めていたり、納得しないところもある。
- ・実施する時の参考意見は20代～40代の年齢層を参考にしてのまちづくりを。最低でも50年後までの事を考えて、そして100年後までを見据えて作れば若い光も見えてくるのでは。予算はなるべく将来に向けて若い人たちのためにと願っています。

- ・鶴ヶ島市内にも昔のようにプールやお風呂を作って欲しいです。健康増進のためにも。
- ・こんなに借地があり借地料を払っている事に驚いた。今後の鶴ヶ島のためにより良い税金の使い方をして貰いたい。全世代の方が大切だが、未来を背負う子どものために良い方向性を考えてあげてほしい。
- ・富士見市民センター入口の階段に段差が分かるように目印のテーピングが欲しい。
- ・メリット、デメリットを踏まえた上での計画と思いますが、子どもたち中心に進めてください。逆に子どもたちが増える将来への計画もお願いします。
- ・廃校となる学校校舎などの利用チラシを掲示してほしい。改装して店舗などに貸して賃料を収入源とする方法もあると思う。公設市場のようにすることも考えられる。
- ・医療施設が欲しい。ワカバウォークはもともと筑波大の医療施設の計画もあったと聞いている。市民病院的な設備があるといい。
- ・計画に対して、市のまちづくりに対するビジョンが見えてこない。
- ・計画を進めていく中で、議員の役割を示していただきたい。